

第1章 調査の概要

1 調査の名称

若者の学習・生活体験と県内定住に関する県民の意識調査

2 調査の趣旨

少子高齢化が急速に進行する本県において、人口の社会減対策として若者の県外転出を抑制させることが課題の一つとされている。

そのため、本調査では、若年層を対象に県外転出に至る動機や課題、本県への定住に対する意識などの現状を把握し、本県のキャリア教育の在り方や若年層のキャリア形成支援に関する生涯学習振興関連施策の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施したものである。

3 調査対象

母集団 青森県内に在住の18歳以上35歳以下の一般県民

標本数 3,000人

4 調査方法

上記母集団から、男女バランス、地域バランス、年齢バランスを考慮した上で、無作為に抽出した方へ調査票を送付し、直接記入していただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、無記名で回収した。調査票の印刷・発送・回収、御礼状の発送、調査結果の集計業務は、業者委託により実施した。

- ・調査業務委託先 株式会社サンブラッソ・エイティープイ
- ・調査票の発送 平成29年1月5日
- ・御礼状の発送 平成29年1月16日
- ・回答期限 平成29年1月31日までに投函

5 回収結果

有効回答数(率) 1,052人 (35.07%)

調査不能数(率) 1,948人 (64.93%)

- 不能内訳 - 住所不明…15人 (0.77%) 回答辞退連絡…25人 (1.28%)
白紙回答…1人 (0.05%) 無反応…1,907人 (97.9%)

6 研究顧問

- ・柏谷 至 氏 (青森大学社会学部社会学科 教授)
- ・李 永俊 氏 (弘前大学人文社会科学部 教授)

<留意事項>本調査報告書では、比率を百分率(%)で表し、小数点第2位で四捨五入した値で表示している。単数回答項目及び複数回答項目については、回答者数を分母として百分率を算出しているため、合計が100%にならない場合がある。図表及び文章中において、選択肢の表記は複雑な表現を避ける目的で一部省略している。